

第 5 回 定 期 研 究 会

平成25年度SGST第5回定期研究会 議事録

日時：平成25年11月27日 16:00～17:30

場所：名城大学 名駅サテライト

出席者：青嵐(中部復建)，安藤(日本工営)，泉野(玉野総合)，谷川，藤原(コベルコ)，
奥村(名工大)，川西(豊田高専)，永富(八千代)，佐藤(篠田)，山下，熊田，高野，
瀧(名高)，久保，近藤(名城大)，佐光(維持管理)，中野(愛知)，野田(中日本)，
園部(JIP)，萬谷(川田工業)，伊藤，山田(尚)，三輪(日車)，加藤，家田，森，
北澤，長田，鎌田，岩田，菱川，佐藤，種岡，高地，天野，伊藤，
有富，松村(瀧上)

以上38名(敬称略)

1. 定期研究会(16:00～17:30)

講演者：東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 企画推進部
担当部長 後藤 康之 様

講演項目：【超電導リニアによる中央新幹線計画について】

講演内容

講演：【超電導リニアによる中央新幹線計画について】

超電導リニアによる中央新幹線計画は全国新幹線鉄道整備法（以下、「全幹法」という。）に基づき、進めている。

東海旅客鉄道株式会社は平成23年5月に、国土交通大臣より全幹法に基づく中央新幹線（東京都・大阪市間）の営業主体および建設主体に指名され、整備計画の決定後、建設の指示を受けた。これを受けて、第一局面として進める東京都・名古屋市間において、環境アセスメントの手続きを進めており、平成25年9月20日には環境影響の調査・予測および評価の結果をまとめた「環境影響評価準備書」を公告し、この中で具体的なルートや駅位置を明らかにした。その後、一般の方からの環境影響評価準備書についてのご意見を募集し、これらの意見の概要と当該意見に対する事業者見解を、平成25年11月25日に関係都県知事、市区町村長に送付したところである。本発表では、中央新幹線の意義、計画の概要、技術開発の経緯についてご説明されるとともに、これからの超電導リニアによる中央新幹線計画の流れを紹介された。

以上.